

箱根駅伝 予選会から応援しよう

平昌冬季オリンピックが2月25日に閉会しました。日本人選手が獲得したメダルは過去最高の13個、金メダルも4個と大奮闘の選手たちでした。日本人選手が活躍すれば心が躍り、仕事にも楽しく臨め、生産性アップは間違いありません。箱根駅伝も早く中大OBの生産性アップに貢献してもらいたいものです。(山井 俊昭)

知られざる過酷な競争

今まで何回か箱根駅伝応援記を書かせていただきましたが、しばらく予選会からの応援が続いていますので、予選会について少し詳しくお話しさせていただきます。

いまさらですが、悔しい結果の数々を整理してみたいと思います。発端は2013年(平成25年)第5区山登りでした。4区多田君から小田原中継所14位でタスキを渡された野脇君は順調に山を登り、我々の応援する小涌谷「うたゆの宿」前を荒い息を吐きながら通り過ぎていきました。まだまだシード圏に届くゾツという期待がもてる順位でした。しかし、ゴール手前5キロあたりで野脇君、脱水症状を起こしてしまい、無念の棄権となってしまいました。ラジオから聞こえた「中央大学棄権」のアナウンス、みな啞然としました。途中棄権、長い駅伝応援で初めての事件でした。

それから5年にわたり苦しい予選会が続きます。予選会1年目、2014年は、12位。くしくも箱根駅伝第90回記念大会で、通常は本選出場できるのは予選10位までですが、



往路5区 野脇君 このあと無念のリタイア

13年から 苦難始まる

記念大会につき13位までが本戦に出場ができる幸運に恵まれ、ぎりぎりでも本選出場となりました。

この年立川に初めて予選会の応援に行きました。最初は広い昭和記念公園の、どこで応援したらいいものかも分からず右往左往しました。

⇒2面に続く



本大会の応援に駆け付けたメンバーたち

頑張れ〜っ!

⇒ 1面から続く

予選会は例年10月の第2土曜日が充てられています。今年は10月13日となります。陸上自衛隊立川駐屯地内の滑走路を周回し、立川市の市街地を通過して、昭和記念公園内をゴールとする20kmのコースを各校10名以上12名以下の走者が走って行われます。

大学ならどこでも参加できるわけではなく、出雲の関東地区予選ということもあり関東学生陸上競技連盟加盟校であること、前年の1月1日から予選会申込期日前日までの公認記録で、5000m16分30秒00か10000m34分00秒00のどちらかの記録（トラック記録に限る）を有する選手にしか出場資格がないため、この出場資格を有する者を補欠も含めて10人以上揃えなければなりません。そして各校上位10名の合計タイムにより10校を選出するのです。大変な難関です。

毎回50校以上がエントリーし、各校12名ずつで総数600人くらいが同じコースを一斉に走ります。最初見たときは渋谷のスクランブル交差点を見てるようでした。そこから勝ち抜くのは並大抵のことではないということを初めて知りました。

記念大会から91回は7位、92回は8位となんとか予選通過を果たしましたが、本選では19位、15位とシード権奪還とはいきま

今年の本戦は15位に終わる

予選会は10月13日

た。そして93回予選会では10位日大にわずか44秒差で届かず、本選出場を逃すという最悪の事態を招いたのでした。87回連続した連続出場記録更新も潰えてしまいました。

翌94回予選会では見事3位で本選出場権を得て2018年、我々も箱根に2年ぶりに応援に出かけました。

結果は残念ながら15位、シード権奪還とはなりません。今年も立川に予選会応援に行きます。

1年生でいきなり主将に抜擢され、予選会でも活躍、大いにリーダーシップを発揮した舟津君が競技に専念することとなり、競技ではあまり実績のない3年生関口君に交代することになりました。前監督浦田氏はスカウトで頑張っているようです。駅伝で実績ある高校生を探しに全国を回っているそうです。

3年生の中山、堀尾、苗村が10000mで30分を切っています。2年生では富原、二井、舟津も好タイムを持っており、期待されます。1年生にも畝、加井などまだまだ伸びしろのあるいい選手がいます。

【中央大学駅伝サイト】

http://www.chuo-u.ac.jp/ekiden/index_j.html

【中央大学駅伝部blog】

<https://chuoekiden.blogspot.jp/>

⇒ 5面下に続く

評議員会と理事会が 次期学長の就任否決

4月22日に学長選挙やり直しを決定

中央大学は、昨年11月5日で任期満了を迎える酒井正三郎学長の後任を決める学長選挙を10月1日に実施しました。その結果、福原紀彦・法務研究科教授が当選人となりました。

これを受けて、10月28日に開催された評議員会において、学長選任案について審議が行われました。長時間にわたる意見開陳がなされた後、異例の投票による採決の結果、承認に必要な過半数の賛成が得られず否決されました。

同日、評議員会の議を踏まえて開催された臨時理事会において投票による採決が行われ、こちらも評議員会と同様、承認に必要な過半数の承認が得られず否決されました。学長選任の否決は、40年前にできた現規定では初めてのことであり、極めて異例のことです。選任否決の主な要因としては、福原紀彦教授が酒井正三郎学長の前の学長を務めていた2012年の附属中学入試を巡る対応への批判などが、いまだに尾を引いているように思われます。

この結果、「中央大学学長に関する規則」に基づき、後任の学長が就任するまでは酒井学長が学長の職務を行うこととなります。

理事会は、福原紀彦・法務研究科教授の学長就任を否決したことで今後の対応を迫られることになりましたが、11月及び12月開催の理事会においては対応策が定まらずにいました。この間、11月には各教授会（6学部＋専門職大学院3研究科）は選挙結果の尊重を求める声明をそれぞれ決議したことから、理事会は各教授会で意見を聴取し、本年1月21日開催の臨時理事会において酒井正三郎学長の後任を決める学長選挙を、4月22日にやり直すことを決めました。

中央大学の近況

なお、酒井正三郎学長は総長の職も兼任しており、昨秋以降に「総長選考委員会」が複数回開催されて来ていますが、総長職が復活してから総長は学長と兼任を常態としてきた経緯もあり、候補者の選任には至っておりません。

学員としては、母校中央大学が2015年秋に策定した「中長期事業計画 CHUO VISION 2025」の実現に向け、オール中央としての力を結集し、一日も早い正常化を願わずにはられません。

〔関連規程〕

◎「中央大学学長に関する規則」

（第6条第1項）

学長は、学長選挙人の選挙によって選ばれた者について、理事会が評議員会の議を経て選任する。

（第3条第1項）

学長の任期は、3年とする。ただし、任期満了の後においても後任の学長が就任するまでは、その職務を行う。

〔関連報道記事・ニュース（一例）〕

- 10月31日 朝日新聞朝刊 「中央大学の学長就任を否決」—評議員会と理事会、賛成少数—
- 11月2日 産経ネットニュース 「中央大学の次期学長 理事会が就任否決」
- 11月6日 産経ネットニュース 「次期学長選任、異例の否決 中大理事会と評議員会」
- 12月3日 産経新聞朝刊 「中大内紛 学長選任 異例の否決」—尾を引く中学入試不正問題—
- 1月22日 読売新聞朝刊 「中大新学長4月に再選挙」—入試対応で批判 福原氏認められず—

（清野 強）

富士は日本一の山 眺めるだけでも心洗われる

る。この「八正道」とは、釈迦が説いた涅槃へ至るための修行の基本となる、「正見」・「正思惟」・「正語」・「正業」・「正命」・「正精進」・「正念」・「正定」の8徳を行うことで、聖者の「道」に至るとされている。そのため、執着を断ち、魂を清らかなものにするを指して、不浄なもの、すなわち、“見ない”・“聞かない”・“嗅がない”・“味合わない”・“触れない”・“感じない”ことで、俗世から隔絶するように「山」へ登るのである。

しかし、「富士山」へ登るのは大変辛い。そう易々とは登れるものではない。登れないなら、眺めるだけでも、その美しさに心が洗われるのではないだろうか。当方、福生の住人は絶景とは言わないまでも、景観スポットを幾つか持っている。特に、お気に入り入りは、徒歩で1分の処で、新奥多摩街道とお墓の先に、見ることが出来る。冬の晴れた日にはより大きくまたより美しく見えている。犬とのお散歩のコースに「富士山」の幾つかの景観スポットを含めている。そして「六根清浄」などと唱えてみたら、日ごろの不浄を洗えるかなあと。甘いかな？

(北崎 邦彦)

“頭を雲の上に出し・・・”と唄われている富士山は世界一美しい山だと言っても過言ではないと、自負できる。海拔3,776Mのシンメトリーは周りに全く山のないその孤高さやなだらかな傾斜でのその気高さからも、世界遺産への登録は当然のことであり、遅過ぎである。もともと、「万葉集」の第三巻の山部赤人が「不尽山」と詠っている。これは、永久に尽きることのない山としてのものであり、他の文章等では「不二山」として、二つとない美しい山としたものがある。また、アイヌ語が語源とする説では、フンチヌプリ(火の女神の山)から変化したものとも。しかし、この山に「富士山」と言う字を充てた理由や経緯は定かではない。

でも、この山は日本人にとって、古来より特別な存在である。その美しさからであろうが、御山信仰の対象である。そうです、「六根清浄」と唱えながら、登るあれですね。この六根とは、「眼根(視覚)」・「耳根(聴覚)」・「鼻根(臭覚)」・「舌根(味覚)」・「身根(触覚)」の五覚と第六感と言われる「意根(意識)」を言う。この六根が人間の認識の根幹であると同時に、我欲の源でもある。この執着にまみれては、人間としての正しい道(八正道)を往くことができないのであると言われてい

わたしの近況

中込 誠経 退職後、福祉の仕事をしています。介護福祉士、社会福祉士、次は精神保健福祉士にチャレンジします。まだまだ働けるぞ！(山梨県富士川町)

山井 俊昭法 息子の嫁の実家から、6歳になる雌のトイプードルが飼えなくなったので引き取ってもらえないかと。息子はマンション住まいでペットはNG、結局うちで飼うことに。たまに連れてきていたが、私の顔を見ると歯を剥いて唸っていた。大丈夫かしらねえ？(横浜市栄区)

和田茂男・理工 2月に母が他界。末っ子の長女が3月に卒業、4月から社会人。当の本人は2月で65歳を迎え、年金受給者の仲間入りをしました。(東京都日野市)

山下昭夫・経済&法(通教) 昨年5月より前期高齢者(年金受給者)となったので「白門50会」に加えて新たに「信窓会」「西東京白門会」の会費も払うことになりました。シーズン中は毎月1回マラソン大会に出るため日々のランニングを怠らぬようにしています。(西東京市)

櫻井和仁・経 新潟県長岡市の実家で母が一人暮らし中、3〜4週間ごとに帰省して掃除や灯油の購入などの雑事を手伝っている。今年の記録的大雪には屋根の雪降ろしは業者の手配がつかず危険を承知で私が屋根に上り奮闘した。(横浜市南区)



秋岡芳郎・商 昨年末、市議会議員選挙で5選を果たし、鳴門市議会第66代議長に就任しました。地方創生・地方の活性化にな

秋の小旅行

静岡・伊豆の葦山反射炉を訪ねて

今回で3回目となる秋の1泊2日(11月19~20日)の旅行は、夏に副幹事長でもある清野さんを中心にこれまでに参加経験のある方々と相談した結果、明治日本の産業革命遺産群の一つとして世界文化遺産に指定されている葦山反射炉がある静岡県伊豆の国市を目的地にした。明治日本の産業革命遺産は、西洋から非西洋への産業化の波及を顕し代表する日本国内8エリア、23資産から構成されており、平成27(2015)年7月、世界文化遺産に登録された。▼電車利用、車分乗で三島・修善寺起終点の伊豆箱根鉄道駿豆線の伊豆長岡駅に参加者8名が集まり、早速駅前の観光案内所で昼食処を尋ね移動した。お蕎麦屋さんで清野さんがスマホを取り出し会話を始めた。すると間もなく当会員で地元伊豆の国市在住の村本誠さんがお見えになった。サプライズ企画なのか、思いもよらない仲間が参加されたことに驚きまた大変うれしくもあった。宿泊も一緒であった。2014年秋の“諏訪・霧ヶ峰”の旅に松木さんが参加されたことを思い出した。天ぷらに地産の食材を使ったランチを済ませ葦山反射炉に車を走らせた▼このエリアは、遺産指定以前と比較すると、ガイダンスセンターが設けられ英語対応可能なボランティアガイドさんが作られるなど環境が大きく変化し新たな観光資源として生まれ変わった。ご婦人のガイドさんの案内に耳を傾けたのち、時代の変遷期にこの反射炉を造った男「江川英龍」の館に歩を進めた▼江川家は清和源氏の流れをくみ、保元の乱(1156年)を避けこの伊豆葦山に定住し、その後江戸幕府の代官職を世襲して勤めた。幕末期には、文化人、開明思想家、革新的技術者、教育者として有名な江川英龍を



葦山反射炉前で

案したともいわれている。現在江川邸は、史跡 葦山役所跡として重要文化財に指定されている。主屋の屋根は高く、庭にも風格を感じ、NHKの大河ドラマ「篤姫」や「西郷どん」のロケにも利用されているようだ。▼日も傾き始め、鎌倉・戦国・江戸時代を経てきた歴史の宝庫地として最後に願成就院(がんじょうじゅいん)を尋ねた。創建は奈良時代といわれ、鎌倉時代勢力を誇った北条氏の寺として次々に堂塔が建立され繁栄をきわめたと伝えられている。運慶作といわれる五体の尊像が寺宝として国宝に指定され、そのうち「毘沙門天像」が東京国立博物館で開催している「運慶」展に出品されていた。運慶展を見てきた私にはまじかに仏像が拝見でき感激した。運慶の特徴である玉眼に強い印象を持つことができた。▼日も暮れる頃ここで箱根から参加された杉本さんと別れ、今宵の宿「ホテル金城館」に向かった。温泉入浴、食前酒、夕食と談笑が続き良き一日をおかげさまで過ごすことができた。旅の楽しみは人それぞれでしょうが、今回のグループでの旅は楽しかった。参加者のお一人お一人に感謝している。来年の旅行がまた楽しみになりました。記憶によりながらの旅記にはつらいものがある。次回はメモも取りながら皆さんと一緒にしたい。

⇒2面から続く

白門50会では、2018年10月に開催される予選会に応援に出かけます。詳しくは近くなったらメールかはがきでお知らせいたします。予選会では成績発表後、近くの中華料理店で懇親会を開いています。

また箱根での往路応援後には、猪鍋を囲んで新年会を行っています。是非ご参加ください。

【メールアドレス登録をお願いします】

白門50会では、なるべくメールで開催行事などをお知らせしたいと、無料のメーリングリストを利用しています。最近白門50会からメールが届かないと案じていらっしゃる方は、一度下記アドレスにアクセスしていただき、設定をお確かめください。配信停止になっている可能性もあります。

<https://www.freeml.com/hakumon50>

一度メールアドレスをお聞きしておりますが、定年退職や、職場が変わってメールアドレスが変わった方もいらっしゃいます。新しいメールアドレスを是非お知らせください。変更のご連絡は山井までお願いします。

yamai@yokohamafp.com

特別栽培米 コシヒカリづくり

雑草との 戦い続く

黒須 敏文 (法)

＝栃木県芳賀町在住



袋詰めされた特別栽培米のコシヒカリ「芳賀のめぐみ」

芳賀町は、いちご（とちおとめ）、梨（にっこり）、お米（コシヒカリ・とちぎの星）のおいしい生産地です。

わたしは、10年前に地方公務員を定年退職し、米麦農家の認定農業者として減農薬・化学肥料半減し、鶏糞等有機肥料を加えた米作りに取り組み続けています。

5月の連休に7条側条田植機で苗移植と施肥の一貫作業で能率アップです。

農薬は、田植え直後一発除草剤1回散布、そして出穂期に、いもち病予防の殺菌剤をラジコンヘリ一回散布しか使っていません。そのため、ヒエ等の雑草が稲の間に繁茂してしまうので、6月から8月にかけて雑草が大きくなるうちに、随時、人力による除草をしなければなりません。

帽子をかぶって、ビニール手袋をはめて四つん這いになって草を抜き取り稲の株間に埋め、大きくなった草は、土手に持ち出すのです。昔ながらの作業は、暑さと腰の痛み悩まされる苦痛な仕事となっています。

安全・安心な「食」 公務員定年後に取り組み

除草剤を4回使用すれば、人力による作業は、しなくて済むのですが、減農薬と有機肥料を使用した環境保全型特別栽培による「食の安全・安心」にこだわっているのです。

9月に4条コンバインによる稲刈り、遠赤外線乾燥機による低温乾燥、もみを5インチもみすり機で玄米にします。この玄米をJAライスセンターにコンテナ出荷するという機械化一貫の楽々作業でやっています。

保有米は、1.85ミリ網グレーダーを通して、30キロ紙袋詰め、保冷库に収納し、食べるときに、1回通し精米機で白米にしてご飯炊きになります。

食味検定では、毎年Aランクをいただき、甘みのあるおいしいコシヒカリができました。縁故米として首都圏の知人に白米20キロ送料込み8千円でお分けして、ご飯がおいしいと称賛をいただいております。草取りの苦痛も忘れ、やる気が出ました。

田の草とりは苦痛でも、健康で体力が続く限り、環境保全型特別栽培米づくりに精進したいと思っています。